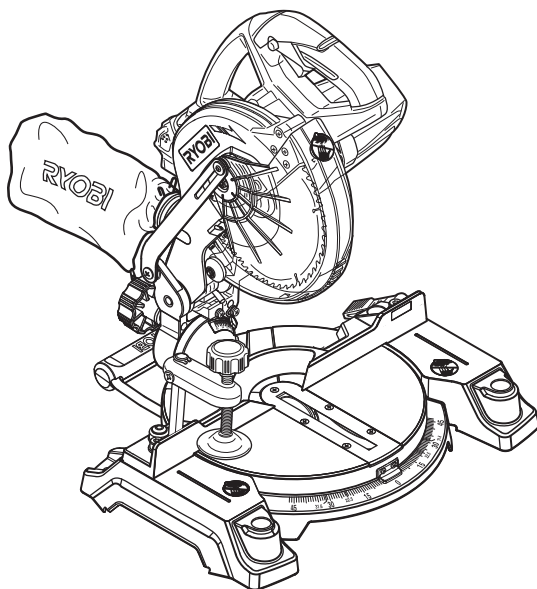


RYOBI

充電式卓上丸ノコ

BTS-180L5

取扱説明書



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 9
■各部の名称	10
■仕様	11
■付属品・用途	12
■別販売品	13
■1充電あたりの作業量（目安）	13
■電池パック・充電器について	14 ~ 16
■ご使用前の準備	17 ~ 18
■ご使用前の点検	19 ~ 20
■各種調整方法について	21 ~ 28
■操作方法	29 ~ 32
■切断作業	33 ~ 41
■保守と点検	42 ~ 44

このたびは、リョービ 充電式卓上丸ノコをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△危険」と「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△危険」・「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

危険

安全作業のために：

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは火への投入、加熱をしないでください。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
 - ・電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

危険

5. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
6. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・ 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
7. 電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。
 - ・ 高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。
8. 電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。
 - ・ 指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

警告

1. 正しく充電してください。
 - ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・ 周囲の温度が 4℃以下、または周囲の温度が 40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. 感電に注意してください。
 - ・ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業はけがのおそれがあります。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
4. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

警告

5. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
6. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
8. 不意な始動は避けてください。
 - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
 - ・失明のおそれがあります。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
12. ご使用済みの電池パックは一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。
 - ・棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
13. 電池パックを電子レンジに入れないでください。
 - ・急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。
14. 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。
 - ・そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
15. 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・ 充電工具や電池パックを、温度が 45℃以上上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
14. 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
15. 電池パックは出荷前に若干量の充電をしていますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。
16. 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。
 - ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。
17. 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。
 - ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

注意

18. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

充電式卓上丸ノコご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式卓上丸ノコをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出していると、けがの原因になります。
2. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
 - ・ ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
3. 切断する材料は、クランプで確実に固定して作業してください。
 - ・ 材料の保持が確実でないとビビリなどによる反発や刃物破損が起こりやすく、けがの原因になります。
4. 材料の切落とし側が大きいときは、切落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
 - ・ このような台がないと、けがの原因になります。
5. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
6. 使用中はノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 切断途中で、ノコ刃を回転させたままハンドルを戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合スイッチを切り、回転が完全に止まってからハンドルを持上げるようにしてください。
8. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ノコ刃など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 破損や変形、また異常に摩耗した刃口板は使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
11. 切粉の排出口に詰まった切屑は、本体から電池パックを取外した後に、棒などで取除いてください。また、指は入れないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・ 端子に金属類を接触させないでください。

警告

- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
 - ・ 雨や水に濡らさないでください。
13. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。
- ・ 爆発や火災のおそれがあります。
14. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
15. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
16. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 傾斜のない平坦な場所に据付けて、安定した状態にしてください。
- ・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ・ 確実にしないと、外れたりし、けがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
- ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、ノコ刃を空転させ、本機の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
- ・ 異常があるとけがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
- ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
- ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
- ・ 手を切るおそれがあります。

⚠ 注意

9. 回転するノコ刃で充電器コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 切断作業のときは、傾斜ハンドル、ロックレバーをしっかりと締付けてください。
 - ・ ゆるんでいると本体が振れ、けがの原因になります。
12. スイッチ ON、OFF 時にはハンドル部へ反発がありますので、ハンドルをしっかりと保持してください。
13. レーザーの光を直接のぞき込まないでください。
 - ・ レーザーの光が目へ直接当たると、目を痛める原因になります。
14. 作業直後の刃物類（ノコ刃）、切粉、電池パック端子部は高温になっていますので触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
15. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。



レーザーの光（ビーム）をのぞきこまないこと。また、望遠鏡などを使用している人にビームを当てないこと。



Li-ion

リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

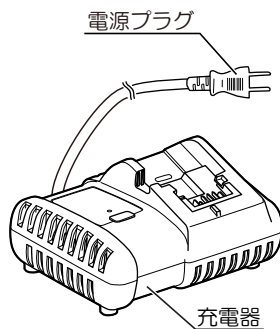
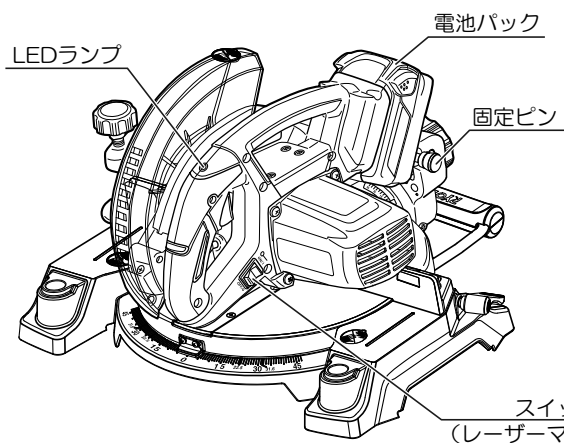
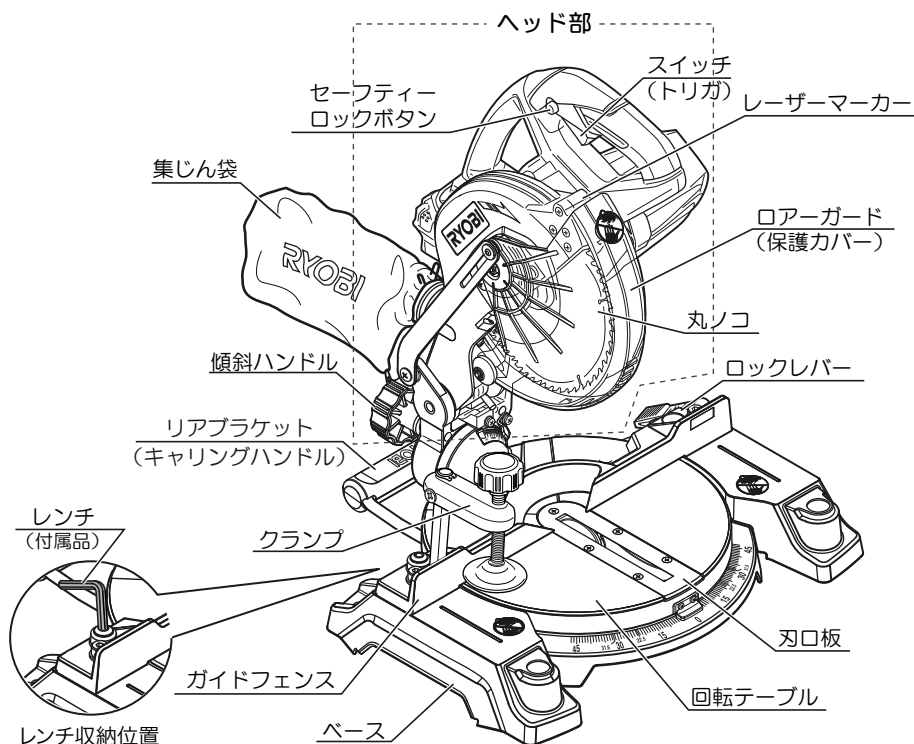
左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。リョービグループでは、希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっています。

不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

⚠ 注意

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

各部の名称



仕様

●仕様

●本体

無負荷回転数	4,500min ⁻¹		
使用できるノコ刃	(外径) 190mm × (刃厚) 2.0mm × (内径) 20mm		
最大切断寸法 (高さ×幅：mm)	ノコ刃傾斜角度 テーブル回転角度	0°	左 45°
	0°	47 × 106	38 × 106
	左・右 45°	47 × 75	38 × 65
テーブル回転角度範囲	0°～左右 47°		
ノコ刃傾斜角度範囲	0°～左 45°		
複合切断範囲	左傾斜 0°～45°、左・右回転 47°		
レーザー出力	MAX 0.9mW (クラス 2)		
据付け寸法	幅 330mm × 奥行 212mm		
電圧	DC 18V		
使用電池パック	B-1850L		
付属充電器	UBC-1802L		
本体寸法 (長さ×幅×高さ) ※1	383 × 420 × 450mm		
質量 ※1	7.4 kg		

※1 電池パック (B-1850L) 取付け時の値です。

●電池パック (B-1850L)

電圧	DC 18V
電池	リチウムイオン電池
容量	5,000mAh
質量	0.62kg

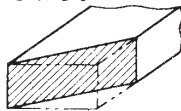
●充電器 (UBC-1802L)

電源	AC 100V 50/60Hz
定格出力電圧	DC 18V
標準充電時間	84 分 ※2
質量	0.54kg

※2 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

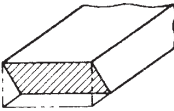
角度切断

回転テーブルを左右にまわす。



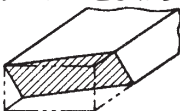
傾斜切断

ヘッド部を傾ける。



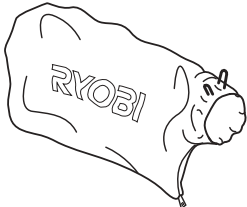
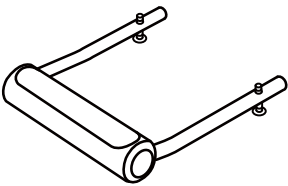
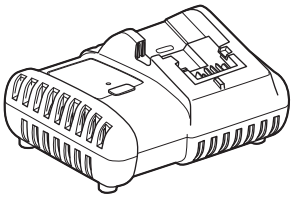
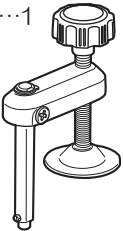
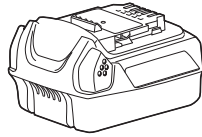
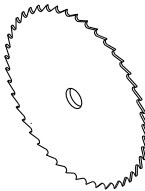
複合切断

ヘッド部を傾け、回転テーブルをまわす。



付属品・用途

●付属品

集じん袋……1 	リアブラケット（ネジ2本付）…1 （キャリングハンドル） 	充電器（UBC-1802L）……1 
レンチ（本体収納）……1 （⊕ドライバ/六角） 	クランプ……1 	電池パック（B-1850L）……1 
チップソー（本体取付）……1 （外径）190mm （刃厚）2.0mm （内径）20mm （刃数）72 		

●用途

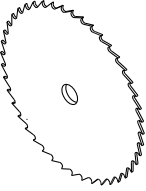
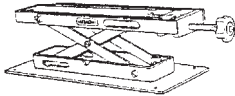
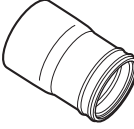
⚠ 警告

- ・ 金属系サイディングボードなど用途以外の材料を切断しないでください。
金属の切屑が飛散し、火災やけがの原因になります。

- ・ 各種木材の切断
- ・ 各種合板、化粧板、軟質繊維板、ハードボードなどの切断
- ・ アルミサッシ材の切断

別販売品

●別販売品

チップソー (外径) 190mm (刃厚) 2.0mm (内径) 20mm (刃数) 72 	補助ローラー (RS-50) 高さ 50 ～ 160mm 用 長尺物の材料支持として使用 すると便利です。 	電池パック・充電器 16 ページ参照
集じんアダプタ (工具側) 内径 42mm (集じん機側) 内径 44mm  ※ 本機を弊社集じん機に接続する場合は、集じん機のホース径（接続口）が外径 43mmであることを確認してください。ホースにより接続できない機種があります。 41 ページ参照	 ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。 ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。	

1 充電あたりの作業量（目安） （周囲温度 20℃）

※ 表中の数値は満充電にしたときの参考値です。電池パックの電池容量および、材質、ノコ刃の切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

(5,000mAh 電池パック使用時)

材 料	条件	切断数
2 × 4 材	ノコ刃傾斜角度 0° テーブル回転角度 0°	約 120 カット

電池パック・充電器について

危険

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

警告

1. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・周囲の温度が 4℃以下、または周囲の温度が 40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
3. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

注意

1. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

電池パック・充電器について

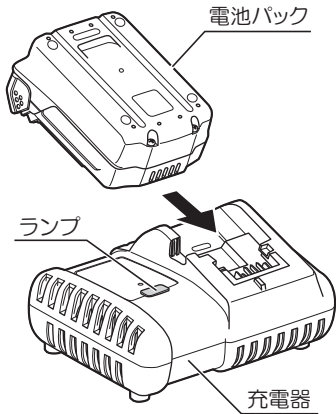
●充電方法

- ・ 充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。
充電状態は充電器のランプで表示しています。(表 1)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
2. 電池パックを充電器にさし込みます。



充電器のランプが点灯するまで、確実に電池パックを奥までさし込んでください。
充電できない場合があります。



3. 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から抜取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・ 充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・ リチウムイオン電池は、電池パックの温度が0℃～40℃の間で充電できますが、電池パックの温度が10℃以下の場合は充電完了までの時間が長くなります。
- ・ 充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

充電器 (UBC-1802L) ランプ表示

表 1

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点 滅 	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点 灯 	充電している状態。
保護充電中	赤	点 滅 	電池保護のための初期充電状態。※
充電完了	緑	点 灯 	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅 	電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・ 充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	緑・赤	短点滅 (交互) 	充電できない状態。 ・ 電池寿命または電池パックの故障が考えられます。

※ 購入後、初めての使用時や、長期保管後の電池は、“保護充電中”になる場合があります。
保護充電が終了すると、自動で“充電中”に切り替わります。

●電池パック・充電器について

- ・ 本機に使用可能な電池パックおよび充電器で充電する場合の充電時間は、表 2 の通りです。お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、表 2 をご確認ください。

表 2

充電器		電池パック (18V)	リチウムイオン電池		
			B-1815L 1,500mAh	B-1850L 5,000mAh	B-1860L 6,000mAh
充電時間 ※1	UBC-1802L ※2		25 分	84 分	91 分
	UBC-1803L ※2		69 分	250 分	262 分
	BC-1800L	80%充電 ※3 (実用充電)	18 分	25 分	31 分
		満充電	24 分	37 分	47 分

※ 1 充電時間は周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※ 2 充電器 UBC-1802L, UBC-1803L は、満充電時の時間です。

※ 3 80%充電（実用充電）は、満充電の 80%の充電状態です。

付属品以外の電池パック、充電器をご使用の場合は、各商品の説明書などをご確認ください。

●電池パックの保管について

⚠ 注意

- ・ 電池容量が少ない状態で放置しないでください。
- ・ 満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管してください。
- ・ 電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

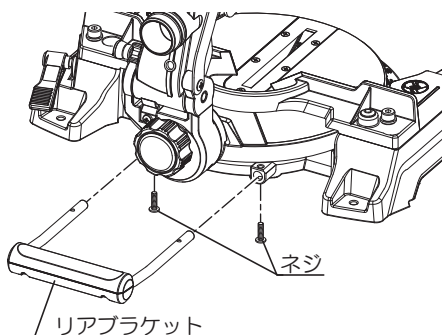
●電池寿命について

- ・ 正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命がきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

ご使用前の準備

●リアブラケットの取付け

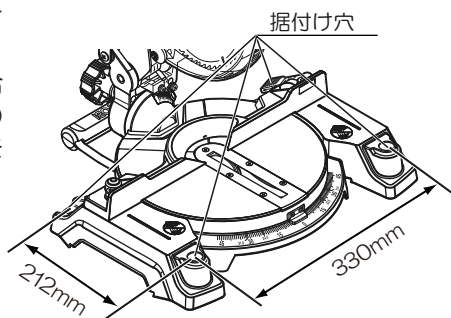
- ・リアブラケットよりネジ 2 本を取外します。
ベースにリアブラケットをさし込み、ネジ 2 本を付属のレンチ（⊕ドライバ側）で締付けて固定します。



●据付け

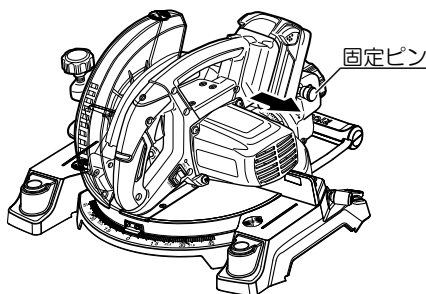
- ・傾斜のない平坦な場所へ、安定した状態に据付けます。

本体を作業台などに固定して据付ける場合は、ベースの据付け穴（4ヶ所、内径 6.7mm）をご使用ください。固定には M6 のボルトを使用します。



●ヘッド部の解除 / 固定

- ・工場出荷時にはヘッド部を固定ピンで固定してあります。持ち運ぶときは、ヘッド部を固定してください。（42 ページ「●持運びについて」参照）
- ・ハンドルを少し下げながら固定ピンを矢印方向に引くと固定が解除されます。固定するときは、ハンドルを押し下げて、固定ピンをさし込んでください。

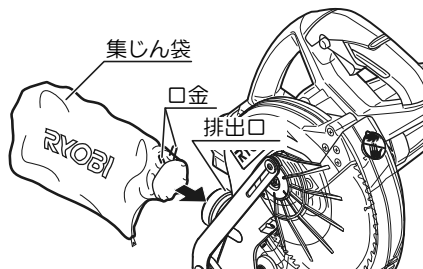


●集じん袋の取付け

- ・集じん袋を取付けて作業すると、周囲への粉じんの飛散が少ない作業が行なえます。

（取付け）

- ・集じん袋の口金をつまんで口を拡げ、排出口に取付けます。



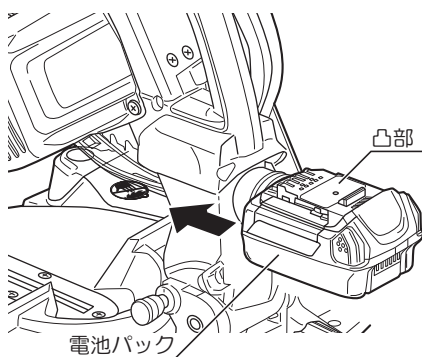
●電池パックの取付け、取外し

⚠ 警告

- ・ 電池パックの取付け、取外しのときは、スイッチに指をかけないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 使用前には、電池パックが本体に確実に取付けられていることを必ず確認してください。不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下して、けがなどをするおそれがあります。

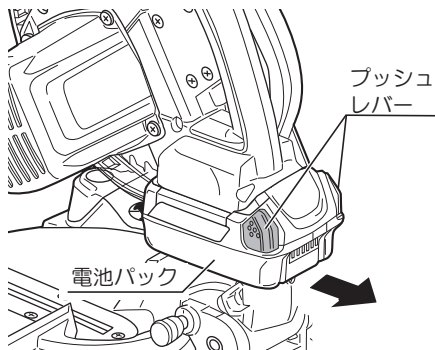
(取付け)

- ・ 本体のハンドル内部の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、『カチッ』と音がするまでさし込みます。



(取外し)

- ・ 両側のプッシュレバーを押えて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。



ご使用前の点検

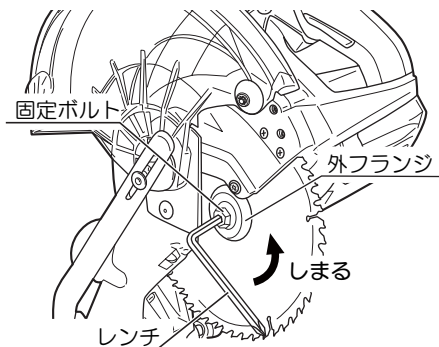
⚠ 警告

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。

①～④項については、必ずスイッチを切り、電池パックを本体にさし込む前に確認してください。

① ノコ刃の締付けを確かめる

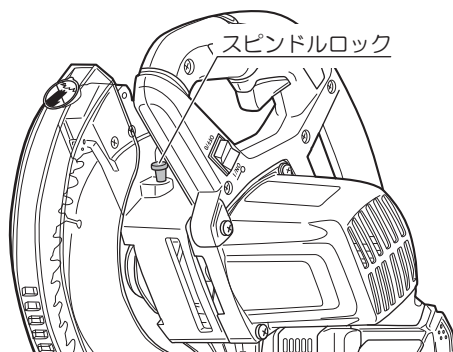
- ・ スピンドルロックを押込みながら、付属のレンチ（六角側）で固定ボルトを矢印方向に回すと、ノコ刃の回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けてください。
31 ページ「●ノコ刃の交換」参照



② スピンドルロックの位置を確かめる

⚠ 警告

- ・ 回転中は、スピンドルロックを押さないでください。またスピンドルロックを押したまま（ノコ刃軸を固定した状態）でスイッチ（トリガ）を引かないでください。
- ・ ノコ刃の交換に使用するスピンドルロックが解除されていることを確認してください。



③ ノコ刃の面振れを点検する

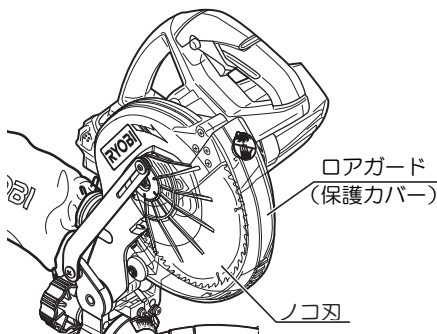
- ・ スピンドルロックを押さない状態で、付属のレンチを使い、固定ボルトをノコ刃軸（スピンドル）端面から見て反時計方向へ回し、面振れを点検してください。
- ・ 面振れが大きいときは、31 ページ『●ノコ刃の交換』を参照して、ノコ刃、固定ボルト、フランジなどに異物が挟まっていないか、十分に固定ボルトが締付けられているかを確認してください。
- ・ 面振れが大きいと正確な切断ができなくなります。また、振動の原因になります。この場合、速やかにお買い上げの販売店にお問い合わせください。

④ ロアガード（保護カバー）の動きを確かめる

⚠ 警告

- ・ ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。ノコ刃が露出していると、けがの原因になります。

- ・ ロアガードは、身体がノコ刃に触れるのを防ぐものです。必ずノコ刃を覆うように円滑に動くことを確認してください。
- ・ 万一、ロアガードが円滑に動かない場合は、決してそのまま使用しないでください。この場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



各種調整方法について

⚠ 警告

- 調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。



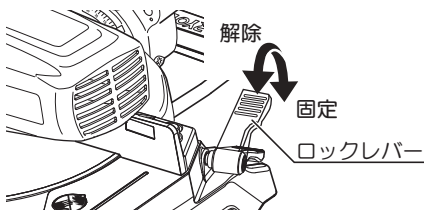
工場出荷時に調整してありますが、輸送や使用状況により狂いが生じる場合があります。精度が必要な作業をするときは、ご使用前に各種の調整方法の手順により調整してください。

●角度切断時の角度調整

- 角度調整は工場出荷時に調整してありますが、再調整が必要な場合は、以下の手順で調整してください。

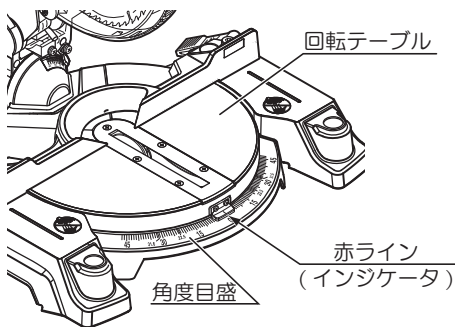
※ 調整にはレンチ（付属品）と三角定規が必要です。ご注意ください。

1. ロックレバーを上へ持上げて回転テーブルの固定を解除します。

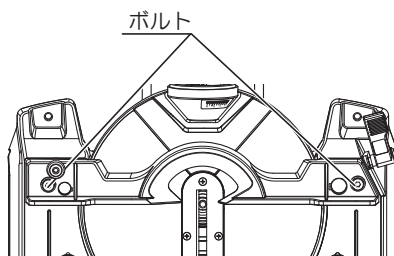


2. ハンドルを動かしてインジケータの赤ラインとベースの角度目盛 0° を合わせます。回転テーブルを少し左右に動かし、回転テーブルの位置を安定させます。

※ 赤ラインと 0° が一致しない場合がありますが、そのままにしておいてください。



3. ガイドフェンスを固定しているボルト 2 本をレンチ（六角側）でゆるめます。

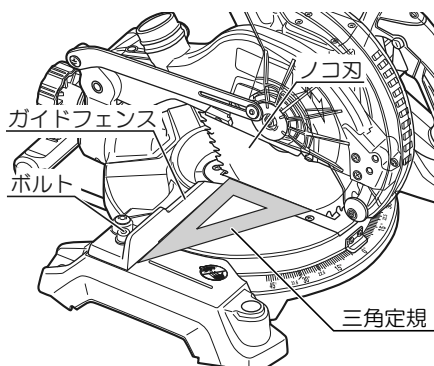


4. ヘッド部を下げて、固定ピンを押込んで固定します。

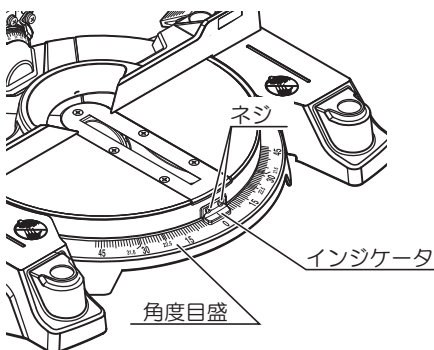
5. ノコ刃側面とガイドフェンス面に定規をあて、ノコ刃とガイドフェンスが直角になるようにガイドフェンスを調整します。

6. ガイドフェンスが動かないように注意しながら、ボルト 2 本を締付けます。

7. ロックレバーを押し下げて回転テーブルを固定します。



8. インジケータの赤ラインと角度目盛の 0° が一致しているか確認します。
一致していない場合は、ネジ 2 本をレンチ（⊕ドライバ側）でゆるめてインジケータの赤ラインを角度目盛 0° に合わせてください。



各種調整方法について

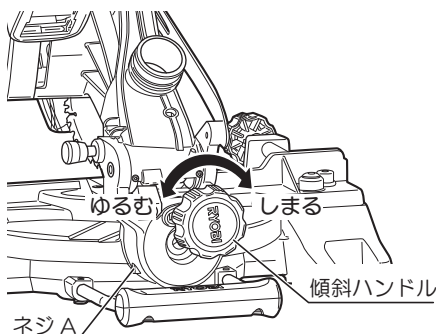
●直角および傾斜切断時の角度調整

- ・傾斜角度調整は工場出荷時にヘッド部が 0° （直角）、左傾斜 45° で止まるように調整してありますが、再調整が必要な場合は、以下の手順で調整してください。

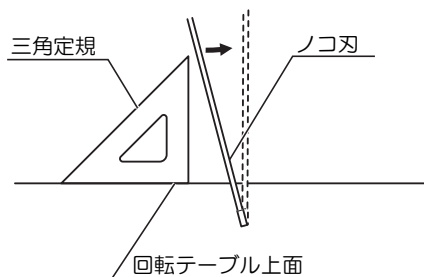
※調整にはレンチ（付属品）と三角定規が必要です。ご注意ください。

（直角位置の調整）

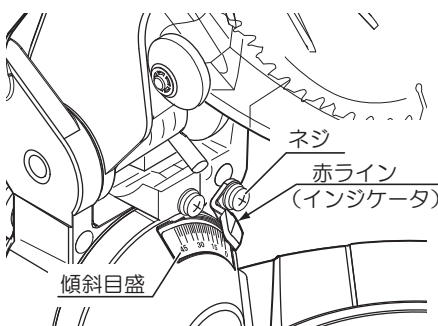
1. 傾斜ハンドルをゆるめます。
2. ヘッド部を左方向に傾けます。
3. アーム部のネジ A をレンチ（⊕ドライバ側）で左に 2～3 回転させます。



4. 回転テーブルとノコ刃の側面を三角定規をあて、ネジを右に回して回転テーブルとノコ刃が直角になるように調整します。
5. 調整が終わったら、傾斜ハンドルを締めてヘッド部を固定します。



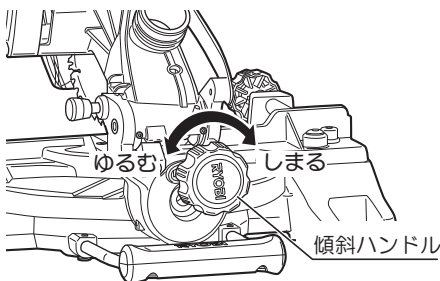
6. アームのインジケータの赤ラインと傾斜目盛の 0° が一致しているかを確認します。一致していない場合は、ネジをレンチ（⊕ドライバ側）でゆるめて赤ラインを傾斜目盛 0° に合わせてください。



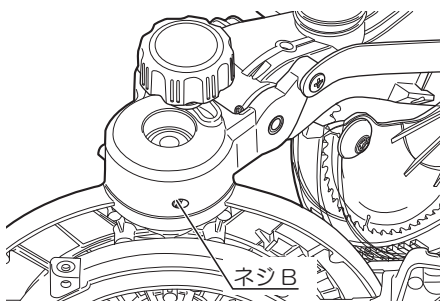
(左傾斜位置の調整)

1. 回転テーブルとノコ刃が直角になったときに、インジケータが傾斜目盛 0° に合っているか確認します。
23 ページ (直角位置の調整) 参照

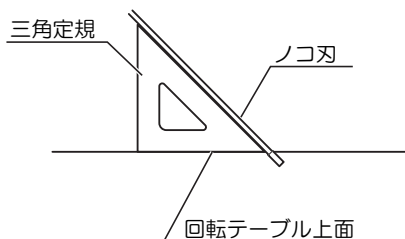
2. 傾斜ハンドルをゆるめて、ヘッド部を左いっぱい傾斜させます。



3. ネジ B をレンチ (⊕ドライバ側) で左に回し、ヘッド部をさらに左に傾けます。



4. 回転テーブルとノコ刃の側面に三角定規をあて、ネジ B を右に回して回転テーブルとノコ刃が 45° になるように調整します。



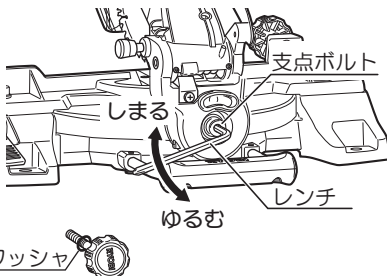
5. 調整が終わったら、傾斜ハンドルを締付けてヘッド部を固定します。



- ・ヘッド部の動きが悪い場合は、付属のレンチで支点ボルトを回して微調整してください。

※ 調整のときは、電池パックを本体より取外し、ノコ刃を取外してください。けがをすることがあります。

※ 調整のときは、傾斜ハンドルはゆるめて取外してください。取外した際、ワッシャを紛失しないよう注意してください。



各種調整方法について

●レーザーラインの位置調整

⚠ 警告

- ・電池パックを取付ける前に、電源スイッチおよびレーザーマーカのスイッチが切れていることを確かめてください。
- ・レーザーラインの位置調整は、電池パックを取付けて作業をするため、ノコ刃を取外して位置調整を行なってください。ノコ刃を取付けたまま行なうと、不意にスイッチ（トリガ）を引くとノコ刃が回転し、思わぬ事故の原因になります。
- ・レーザーマーカースを取外して、別用途で使用しないでください。

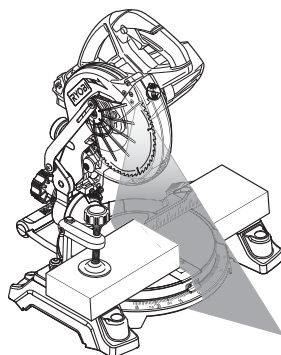
⚠ 注意

- ・レーザーの光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。レーザーの光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。また分解しないでください。本機には、レーザーの基準規格により、右のラベルが貼付けてあります。
- ・レーザーマーカース、本機に強い衝撃を加えないでください。レーザーラインの位置が狂ったり、レーザーマーカースの損傷や寿命低下の原因になります。（レーザーマーカースに不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。）
- ・レーザーマーカースのスイッチに、防じん用カバーを取付けています。スイッチのカバーに傷を付けたり、破いたりしないよう注意してください。スイッチ部に切屑などが入り、レーザーマーカースが点灯しなくなる場合があります。

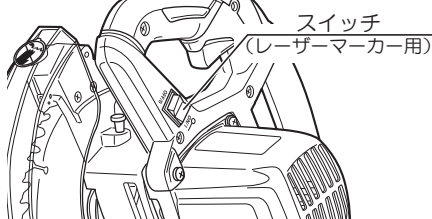


- ・レーザーマーカースは切断作業のときだけ点灯してください。レーザーマーカースを長時間連続で点灯させると、レーザーマーカースの寿命低下の原因になります。
- ・墨線とレーザーラインを重ね合わせて切断するようにしてください。墨線とレーザーラインが重なると光の強弱が変化し、一致していることが分かりやすくなり、切断誤差が少なく、安定した切断作業ができます。
- ・屋内の窓際や屋外の作業で、太陽光によってレーザーラインが薄く見えにくい場合は、太陽光が直接当たらない場所で、作業してください。
- ・暗い屋内作業で、レーザーラインが強くまぶしい場合は、照明をつけ明るくすると見やすくなります。
- ・定期的にレーザーラインの位置が狂っていないか確認してください。墨線とレーザーラインの狂いが墨線幅（0.5mm）以下であることを確認してください。もし不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

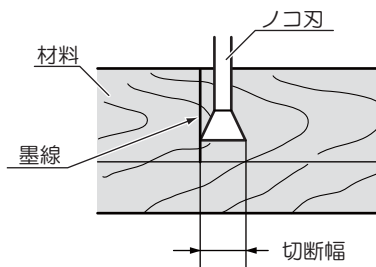
- ・ 本機は、レーザーラインにより墨線合わせが容易にできます。



- ・ レーザーラインはレーザーマーカースイッチで点灯します。

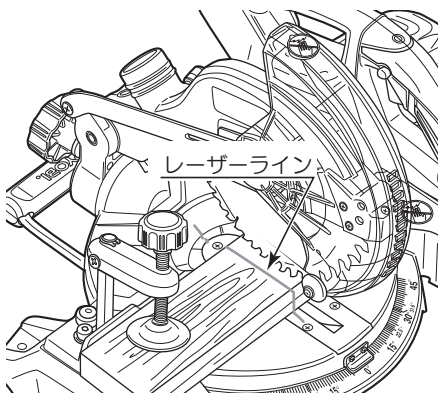


- ・ レーザーラインは切断用途により、切断幅（ノコ刃）の左側、または右側の墨線に合わせることができます。



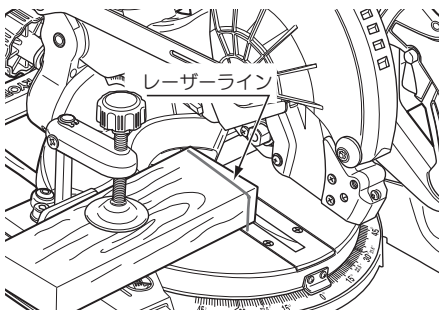
（レーザーラインの合わせ方）

1. 材料をクランプで固定します。
2. レーザーマーカースイッチを点灯し、ノコ刃とレーザーラインがずれているのを確認し、切断します。（材料は調整用のため不要の材料をご使用ください。）
3. 電池パックを本体より取外し、材料は固定したまま、ノコ刃を取外します。（31 ページ「●ノコ刃の交換」参照）

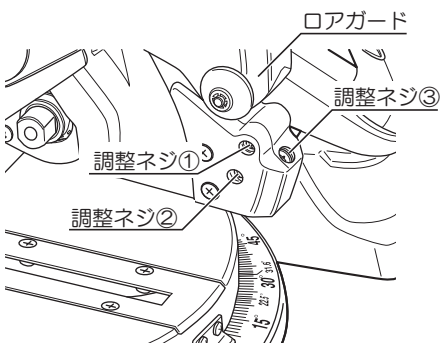


各種調整方法について

4. 電池パックを本体に取付け、レーザーマーカ用のスイッチを入れます。
レーザーラインが照射した状態で、切断位置まで本体を押し下げます。



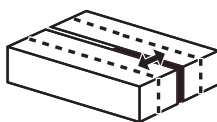
このとき、ロアガードは、調整操作がしやすいように、上部へ移動してください。



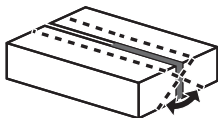
5. 調整ネジ②と③を付属のレンチ（⊕ドライバ側 / 六角側）で交互に回しながら、材料の切断面とレーザーラインを合わせます。
調整ネジ①を付属のレンチ（⊕ドライバ側）で回すことでレーザーラインを左右に移動させることができます。

※ 材料の切断面とレーザーラインが重なれば、ノコ刃とレーザーラインが合致します。

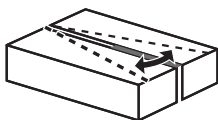
調整ネジ①を回すと



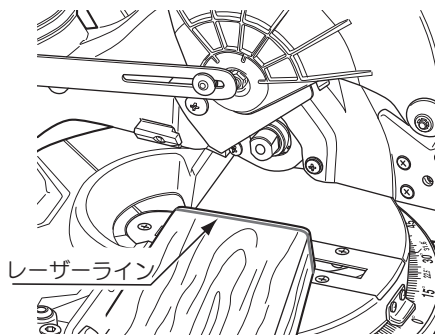
調整ネジ②を回すと



調整ネジ③を回すと



この方向にレーザーが動きます。

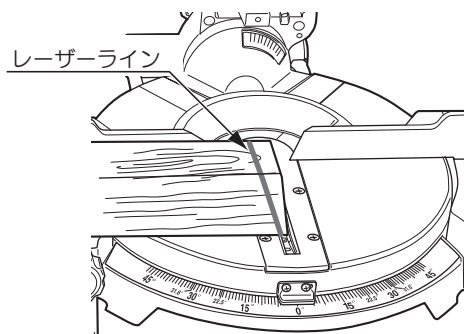


調整ネジは回し過ぎないでください。

- ・ 調整ネジ①②をゆるめ過ぎると調整ネジが抜け落ちるおそれがあります。
- ・ 調整ネジ③を左右 90° 以上回すとレーザーマーカが破損するおそれがあります。

＜悪い例＞

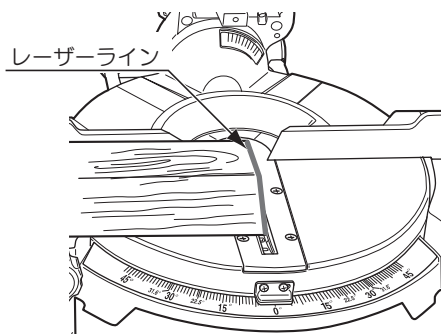
レーザーラインが斜め



＜良い例＞

レーザーラインが垂直

材料の切断面とレーザーラインが重なっている



6. レーザーラインの位置を調整後、材料に直角な墨線を引き、レーザーラインに墨線を合せます。墨線を合せる場合、材料を少しずつずらし、墨線にレーザーラインが重なる位置でクランプにより固定します。再び切断して、レーザーラインの位置を確認します。

レーザーラインの位置を変えたい場合は、再度 1. ～ 6. の順序に従い調整します。

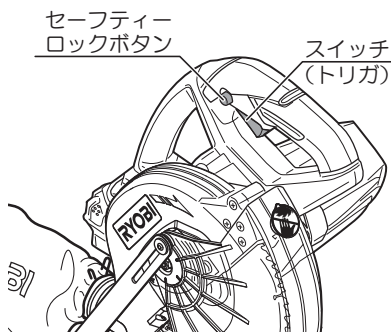
操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・本体に電池パックを取付ける前に、スイッチが切れていることを確認してください。スイッチを入れたまま電池パックを取付けると、事故の原因になります。

- ・本機はセーフティスイッチを採用しています。セーフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・スイッチはセーフティロックボタンを押しながらトリガを引くとスイッチが入り、放すと切れます。
- ・スイッチから指を放すと自動的にセーフティロックボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



●クランプの使い方（材料の固定）

⚠ 警告

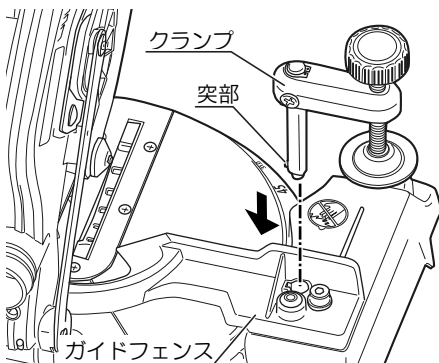
- ・ノコ刃を回転させたまま材料の取付け、取外しをしないでください。ノコ刃に巻込まれて飛散するなど、けがの原因になります。
- ・材料はガイドフェンス面へ確実に押し当て、クランプで確実に固定してください。手や足など身体で押さえると、けがの原因になります。また、切断精度が悪くなるばかりでなく、本機を損傷する原因になります。

- ・クランプはガイドフェンスの左右2ヶ所に取り付けられます。作業に応じて取付けてください。

（クランプの取付け）

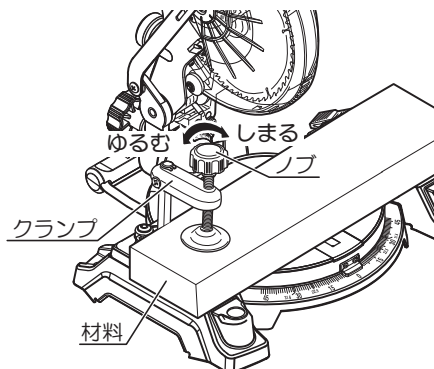
- ・ガイドフェンスの取付け穴にクランプのシャフトをさし込み、左右どちらかに少し回してシャフトを固定します。

※シャフトの突部を取付け穴の凸に合わせてさし込んでください。



（材料の固定）

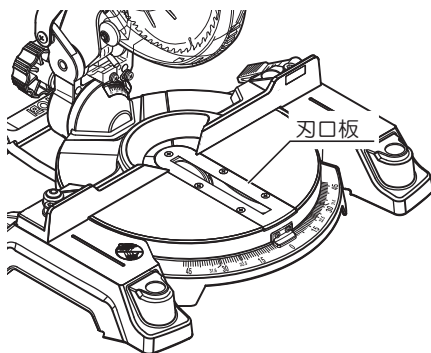
- ・ 材料をガイドフェンス面と回転テーブルに密着させ、材料の切断位置を合わせ、クランプのノブを右に回して材料を固定します。



●刃口板について

⚠ 警告

- ・ 材料切断時は刃口板とノコ刃の隙間より薄い切り落しはしないでください。ノコ刃に材料が巻込まれて周囲に飛散するなど、けがの原因になります。
- ・ ノコ刃が刃口板に接触ししていないことを確認してください。



操作方法

●ノコ刃の交換

⚠ 警告

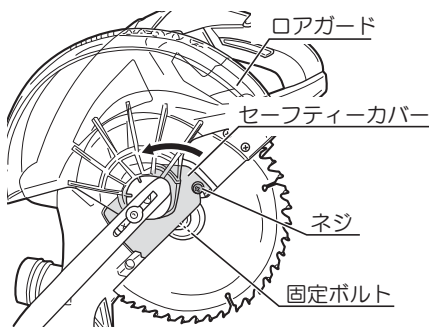
- ・ 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電池パックを本体から取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 固定ボルトは、ゆるまないよう付属のレンチで確実に締付けてください。固定ボルトが締っていない状態で切断作業をすると、固定ボルトがゆるんでノコ刃が外れ、ロアガード（保護カバー）が破損する場合があります、けがの原因になります。
- ・ 付属のレンチ以外の工具を使用して固定ボルトを着脱すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ・ セーフティーガードに表示してある回転方向と、ノコ刃の回転方向のマークが同じ向きになるようにノコ刃を取付けてください。
- ・ ノコ刃の取付け、取外しに使用したスピンドルロックが元の位置に戻っている（解除している）ことを確認してください。

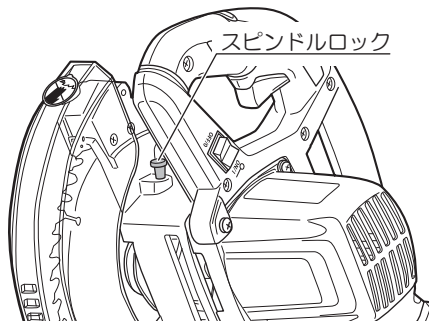
1. セーフティーカバーを開く

ロアガードを持上げ、セーフティーカバーを固定しているネジをゆるめて取外します。セーフティーカバーを矢印方向に移動して、固定ボルトが見える状態にします。



2. シャフトを固定する

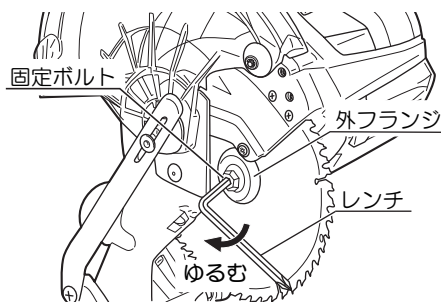
スピンドルロックを押した状態で、付属のレンチ（六角側）で固定ボルトをゆっくり回すと、シャフトの回転が止まる位置があります。（この状態でシャフトが固定されます）



3. ノコ刃を取外す

シャフトを固定した状態でレンチを矢印（ゆるむ）方向に回し、固定ボルト、外フランジ、ノコ刃の順に取外します。

※ 固定ボルトは左ねじになっています。

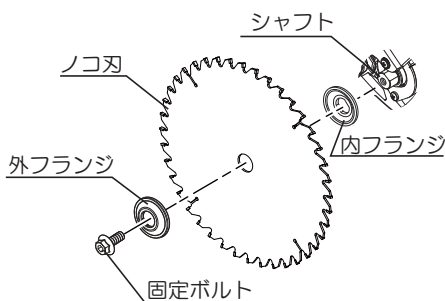


4. ノコ刃を取付ける

シャフト、内フランジなどについている切屑、ゴミなどをきれいに取除き、取外しとは逆の要領でシャフトにノコ刃、外フランジ、固定ボルトを取付けます。



- ・ ノコ刃の矢印とセーフティーガードの矢印方向が一致するように取付けてください。
- ・ ノコ刃の穴を内フランジの凸部にガタなく取付けてください。

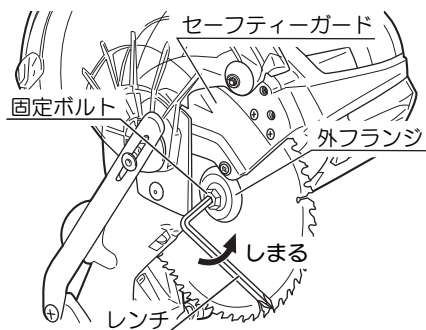


5. 固定ボルトを締付ける

スピンドルロックを押込み、シャフトを固定し、レンチで固定ボルトを矢印（しめる）方向に回して締付けます。

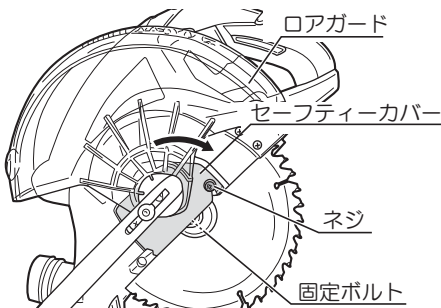


取付け後はスピンドルロックを放し、シャフトのロックが解除されていることを確認してください。



6. セーフティーカバーを閉じる

セーフティーカバーを戻し、ネジをレンチ（⊕ドライバ側）で締付けてください。



切断作業

⚠ 警告

- ・材料切断時は刃口板とノコ刃の隙間より薄い切り落としはしないでください。ノコ刃に材料が巻込まれて周囲に飛散するなど、けがの原因になります。
- ・刃口板の隙間に切り落とした材料が入り込んだ場合は、スイッチを切り、本体から電池パックを外してから取除いてください。
- ・切断後はノコ刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。
切断後、ノコ刃を回転させたままハンドルを持ち上げると、強い反発力が生じたり、また切り落とし側が薄い場合は、切り落した材料がノコ刃に巻込まれて周囲に飛散するなど、けがの原因になります。
- ・1回の切断または切込みが終るごとに、スイッチを切ってノコ刃の停止を確認し、ハンドルを持ち上げ、もとの位置に戻してください。
- ・回転テーブル上面から切り落した材料を必ず取り除いてから、次の段取りをしてください。
- ・連続的に切断作業すると、モーターが過負荷状態になります。モーター部を手で触れて熱く感じるような場合は、10分程度切断作業を中止してください。
- ・万一の事故を防止するため、作業後は必ずスイッチを切り、本体から電池パックを外してください。
- ・排出口に切屑が詰まったときは、スイッチを切り、本体から電池パックを外した後、棒などをさし込んで切屑を取除いてください。排出口に指を入れるとけがの原因になります。

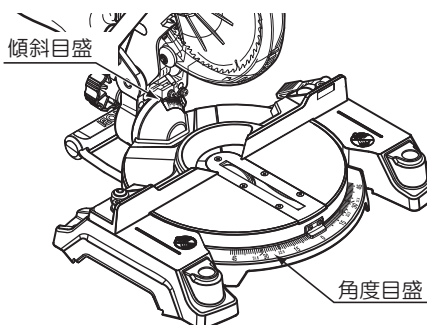


各種目盛は目安にしてください。

- ・角度目盛、傾斜目盛は工場出荷時に調整してありますが、輸送や使用状況により狂いが生じる場合があります。精度が必要な作業をするときは調整を行なってください。

21～22 ページ「●角度切断時の角度調整」

23～24 ページ「●直角および傾斜切断時の角度調整」 参照

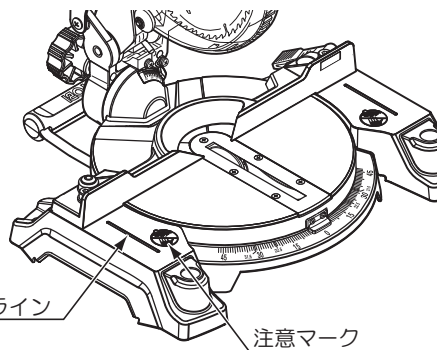


●注意マークと注意ラインについて

- ・ベースの左右に注意マーク、注意ラインがあります。これは、切断中にこの注意ラインより内側（刃物側）に手、指を入れないようにしてくださいという印です。
材料を手で支える場合にも、ラインの外側で支えてください。

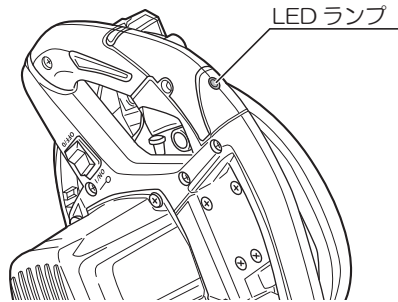


注意マーク



●保護機能 LED ランプ

- ・本機には本体および電池寿命を保つために保護機能を搭載しており、保護機能が作動しているとき、および電池切れのときはLEDランプが点灯（点滅）して動きません。
本体が動かないときは、スイッチを切ってください。下表の内容をご確認のうえ、原因を取除いてください。



本体が動かなくなった

LED ランプ表示	点灯	点滅
--------------	----	----

原因	電池残容量が少ない	電池切れ	本体が過負荷状態	電池パックの温度が高い
----	-----------	------	----------	-------------

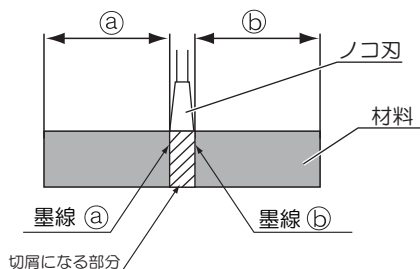
処置	充電する	充電する	電池パックを取外して、過負荷の原因を取除く	電池パックを冷やす
----	------	------	-----------------------	-----------

処置後も異常がある場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお持ちください。

切断作業

●墨線、レーザーラインの合わせ方

- ・材料を切断する際、ノコ刃の厚み分が切屑になります。
①の長さが必要な場合は、墨線をノコ刃の左側面に合わせます。
②の長さが必要な場合は、墨線をノコ刃の右側に合わせます。
- ・レーザーマーカを使用する場合は、ノコ刃の左側面または右側面にレーザーラインを合わせてから、レーザーラインを墨線①または②に合わせます。

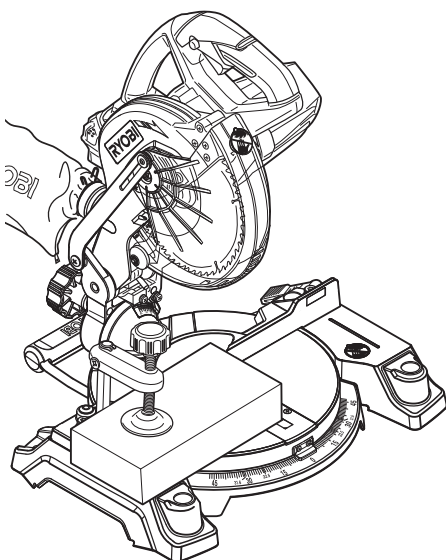


(正面から見た場合の図)

ノコ刃とレーザーラインの位置合わせは、25～28 ページ「●レーザーラインの位置調整」を参照してください。

●基本切断

1. 切断角度を設定した後、材料をガイドフェンスと回転テーブルに密着させて材料の切断位置を合わせます。材料をクランプで確実に固定してください。
2. スイッチ（トリガ）を引いて、ノコ刃の回転が完全に上がって安定してから、ハンドルを静かに押し下げて材料に近づけます。
3. ノコ刃が材料に接したらハンドルを徐々に押し下げ、材料に切込みを与え、切断します。
4. 切断が終わったところでスイッチを切り、ノコ刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げ、もとの位置に戻します。



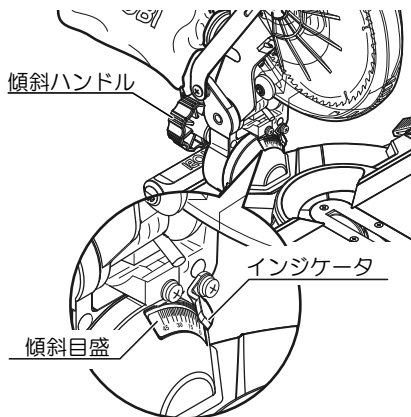
切込むとき、ハンドルに力を入れすぎても早く切れません。力を入れすぎるとむしろモーターに無理がかかり、能率も悪くなったり、モーター焼けの原因になります。

●傾斜切断（左傾斜 0°～45°）

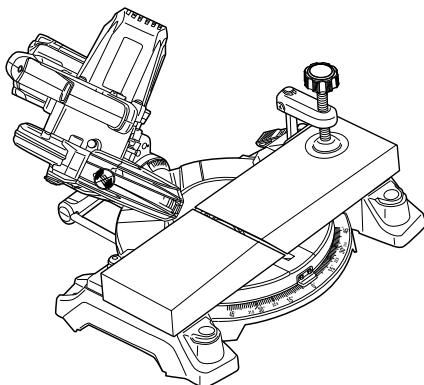
⚠ 警告

- 材料を固定し、傾斜切断をした場合、切り落とし側の材料がノコ刃の上側にのる状態となります
ノコ刃が完全に停止してから、ハンドルを持ち上げ、もとの位置に戻してください。
ノコ刃を回転させたままハンドルを持ち上げると、切り落とし側の材料がノコ刃に巻き込まれ周囲に飛散することがあり、けがの原因になります。
- 傾斜切断を途中で中断したときは、必ず最初の切断位置から、再度切断を始めてください。中断した位置から切断を始めると、切断したノコ刃溝にロアガード（保護カバー）が入り込んで変形し、ノコ刃に接触するおそれがあり、けがの原因になります。

1. 傾斜ハンドルをゆるめ、ヘッド部分を左側に傾斜させます。
2. インジケータを希望の傾斜角度に合わせ、傾斜ハンドルを締めてアームを固定します。



切断作業は 35 ページ「●基本切断」を参照してください。



切断作業

●角度切断（回転テーブルの回転で左 47°、右 47° までの角度切断）

⚠ 警告

- ・ 回転テーブルの角度調整後は、ロックレバーを確実に締付けてください。作業中回転テーブルが動き、思わぬけがの原因になります。

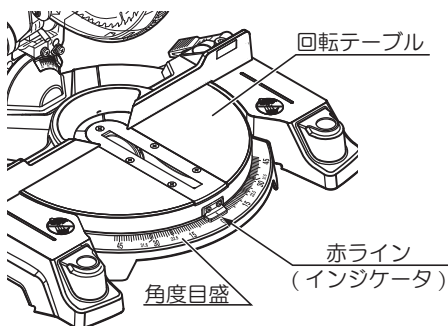
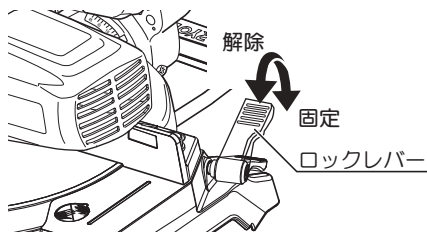
- ・ 回転テーブルを回転させると左右 47° までの角度切断ができます。

ロックレバーを上持ち上げて回転テーブルの固定を解除し、ハンドルを動かして回転テーブルを回します。

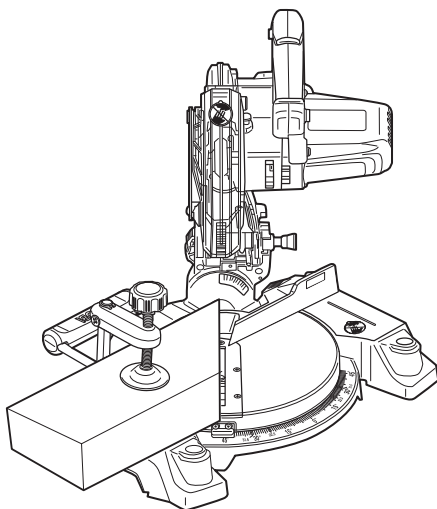
インジケータの赤ラインを回転テーブルの角度目盛（加工角度）に合わせた後、ロックレバーを押し下げて回転テーブルを固定します。

- ・ 回転テーブルには 0° および左右 15°、22.5°、31.6°、45° ではロック機構が働きます。

ロックレバーを上持ち上げて回転テーブルの固定を解除し、ハンドルを動かして回転テーブルを回すと回転テーブルが固定される位置でロックレバーを押し下げて固定します。



切断作業は 35 ページ「●基本切断」を参照してください。



●複合切断（角度切断＋傾斜切断）

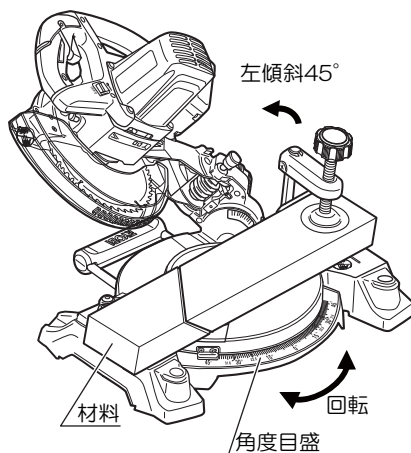
- ・回転テーブルによる角度設定とノコ刃による傾斜角度設定を組み合わせることによって、表に示す範囲の複合切断ができます。

テーブル回転角度範囲	ノコ刃傾斜角度範囲
0°～左右 47°	0°～左 45°

- ・テーブル回転角度：左 45° または右 45°、
ノコ刃傾斜角度：左 45° の場合、
高さ 38mm × 幅 65 mm の材料が切断できます。

36 ページ「●傾斜切断」

37 ページ「●角度切断」 参照



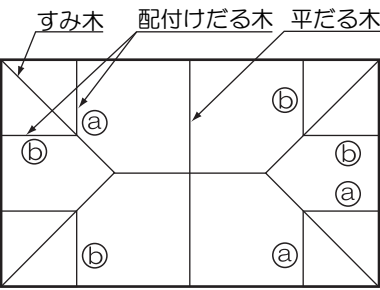
●配付けたる木加工

- ・複合切断により配付けたる木加工ができます。
- ・幅 38mm までの配付けたる木加工の場合、ノコ刃を 45° に傾斜させ、回転テーブルを回転し、ベースのインジケータを角度目盛に合わせて切断します。
- ・回転テーブルの回転方向により、すみ木への接合方向が 39 ページの表 2 に示すように異なりますので十分注意してください。なお、加工寸法を下の表 1 に示します。

表 1

屋根勾配	幅 38mm の配付けたる木加工		
	ノコ刃 傾斜角度	回転テーブル回転角度	配付けたる木加工寸法 L (幅) × H (高さ)
2 寸勾配	45°	11.5°	38 × 102 mm
2.5 寸勾配	45°	14°	38 × 100 mm
3 寸勾配	45°	16.5°	38 × 99 mm
3.5 寸勾配	45°	19.5°	38 × 98 mm
4 寸勾配	45°	22°	38 × 96 mm
4.5 寸勾配	45°	24°	38 × 95 mm
5 寸勾配	45°	26.5°	38 × 93 mm
5.5 寸勾配	45°	29°	38 × 91 mm
6 寸勾配	45°	31°	38 × 89 mm

切断方法



(屋根を真上から見た場合)

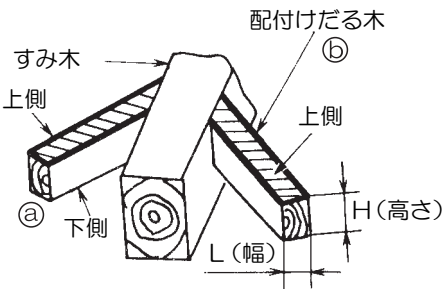
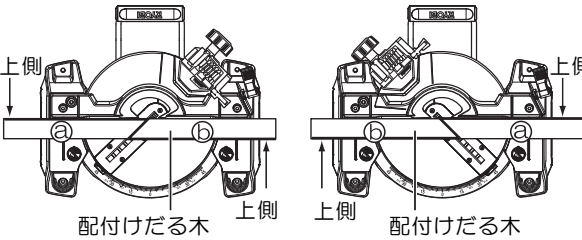


表 2

加工寸法	加工方法	注意事項
幅38mm までの配 付けだる 木	5寸勾配の例 	図中、配付け たる木①、②の 太線側が、すみ 木接合時の上側 (斜線部)になり ます。

●アルミサッシなどの変形しやすい材料を切断する場合

⚠ 警告

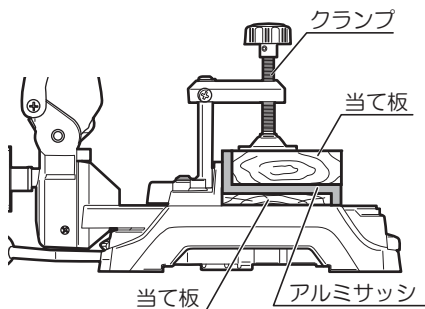
- ・材料はクランプで確実に固定してください。材料の固定が不十分な場合、材料が変形してノコ刃がはさみ込まれ、材料が飛散し、けがの原因になります。
- ・切削油（軽油、スピンドル油）を使用するときは、周囲に火気のないことを確認してください。



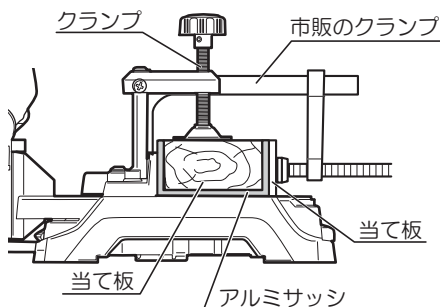
- ・アルミ材切断時は刃物の刃先に切削油（軽油、スピンドル油）を塗布して切断すると、無理がなくきれいな仕上面が得られます。
- ・木材加工後にアルミサッシを切断するときは、集じん袋内の切屑を捨ててから作業してください。切屑が残ったままだとアルミ材の切削粉により、発火するおそれがあります。

- ・アルミサッシなどの板厚の薄い材料は、当て板を使用せずクランプで締付けると変形し、モーターに無理な負担がかかります。
また、切断時材料が不意にばたつき、ノコ刃に衝撃的な力が加わることがあります。

- ・変形しやすい材料を切断する場合は、右図で示すように必ず当て板を使用し、材料の切断部の近くまで挟み、クランプで締付けてください。



- ・U形状の材料の場合は、横方向の固定を確実にするため、右図で示すように当て板を使用し、材料の切断部の近くまで挟み、付属のクランプと市販のクランプを併用して締付けてください。



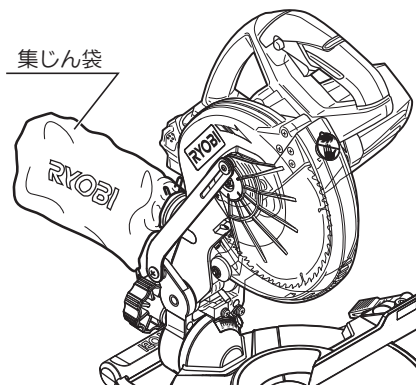
切断作業

●集じん袋について



- ・ 傾斜切断の場合は、切屑がつまりやすくなり、排出口、ギヤケース内に切屑がつまることがあります。早目に集じん袋から切屑を取り除いてください。
- ・ 木材加工後にアルミサッシを切断するときは、集じん袋内の切屑を捨ててから作業してください。切屑が残ったままだとアルミ材の切削粉により、発火するおそれがあります。

- ・ 集じん袋内に切屑がいっぱいになると、手前に切屑が飛散します。いっぱいになる前に集じん袋より切屑を取り除いてください。



●集じんアダプタについて(別販売品)

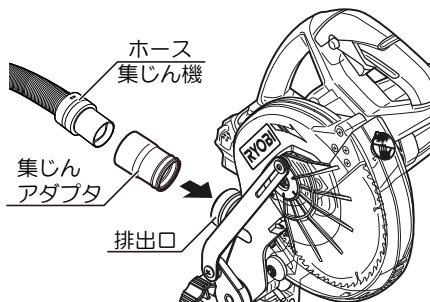
- ・ 別販売品の集じんアダプタを使用して、集じん機に接続すると粉じんの少ない作業ができます。

(接続方法)

1. 本体の排出口に集じんアダプタをさし込みます。
2. 集じんアダプタに集じん機のホース（接続口 外径 43mm）をさし込んで接続してください。



本機を弊社集じん機に接続する場合は、集じん機のホース径（接続口）が外径 43mmであることを確認してください。ホースにより接続できない機種があります。



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

●ノコ刃について

⚠ 警告

- ・切れ味の悪くなったノコ刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。
- ・ノコ刃の切れ味が悪くなったまま使用しているとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

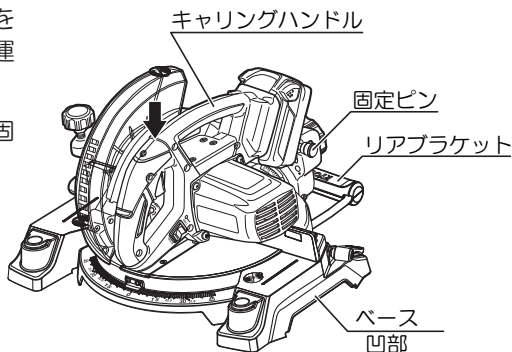
●持ち運びについて

⚠ 警告

- ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。

- ・持ち運ぶときは、ヘッド部を固定し、キャリングハンドルまたはリアブラケットを持ち、ベース側面の凹部を支えて持ち運んでください。

ヘッド部の固定は、ハンドルを下げた固定ピンを押込んでください。



保守と点検

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●ロアガード（保護カバー）の動作点検と保守

- ・ロアガードは、いつも円滑に動作するようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

●使用後の手入れ

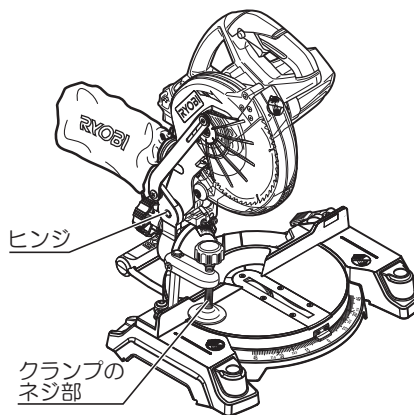
- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●注油

- ・製品を長持ちさせるため、月一度の割合で注油点に注油してください。
（油はマシン油が適当です。）

注油点

- ・ヒンジの回転部
- ・クランプのネジ部



●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管は禁止する。
 - d. - 20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

— NOTE —

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店までお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512
名古屋市天白区久方 1-145-1
TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141
<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>